

コミュニティ・子育て拠点整備ワークショップ報告

鶴岡市市民部コミュニティ推進課

鶴岡市では、旧朝陽第二小学校跡地に第二学区コミュニティセンターを移転し、中央児童館との連携により「子どもから高齢者までが交流できる場」「地域で子どもを育てる場」が一つになった新たな地域拠点の整備を検討しています。

今回のワークショップでは、コミュニティセンターだけでなく、中央児童館の改修や新たに整備されるプレーパークを含めた敷地全体を、コミュニティと子育ての拠点としてどのように活用していくかをイメージしながら、基本計画素案（平面図案）をもとに意見交換を行いました。

ワークショップの概要

■開催日時 令和7年11月16日（日）13:30～16:00

■テーマ 現地ツアーとコミュニティ・子育て拠点活用方法の意見交換

■会場 鶴岡市中央児童館「ひろっぴあ」

■参加者 21名

■当日の流れ

1. 基本計画素案の説明

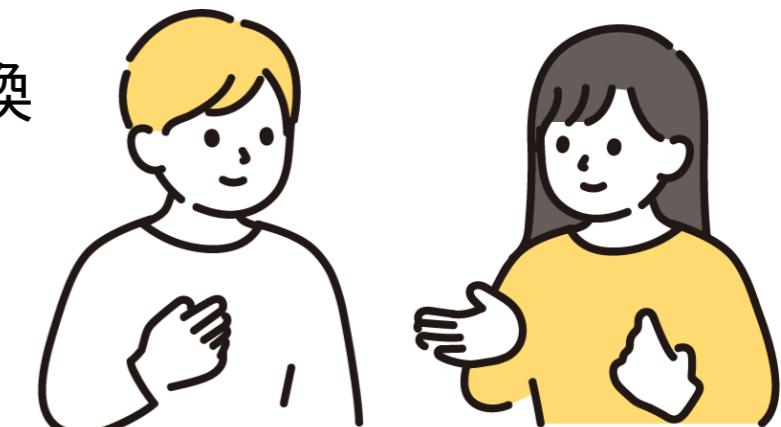
第二コミセン、中央児童館、プレーパークの整備イメージの説明

2. 現地ツアー

実際どの辺にコミセン等が整備されるのかを現地で確認

3. グループワーク

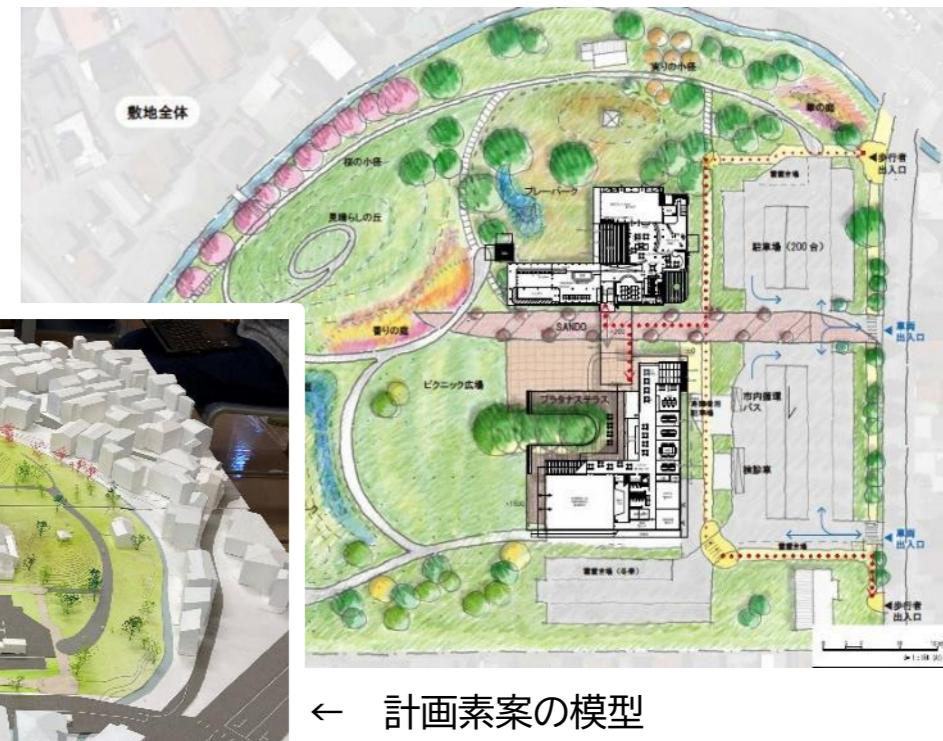
コミセン、児童館+プレーパーク、敷地全体の3つのテーマで議論



1. 基本計画案の説明

昨年度に策定した「コミュニティ・子育て拠点整備基本構想」を踏まえて、検討した「交流と連携を生み出す施設配置計画案」や「建物内外を一体使用できる、賑わいが染み出すホワイエのあるコミセン計画案」、「中央児童館の屋内屋外が一体となったプレーパーク整備案」の現時点の計画案をスライドで説明しました。

敷地全体の施設配置計画案→
(11/16時点)



← 計画案の模型

コミュニティ・子育て拠点整備基本構想の概要

- 基本理念 「集う 育む 支え合う みんながつながる交流拠点」
- 整備方針
 - ① 第二学区コミュニティ防災センターの移転改築
 - ② 多目的軽スポーツホールの整備
 - ③ 中央児童館の屋内屋外が一体となったプレーパーク整備
 - ④ 交流と連携を生み出す敷地全体の活用

2. 現地ツアー

建物の墨だしをしておいた整備予定地を設計事業者からの説明を聞きながら1周しました。

参加者の皆さんには、どの辺りがコミセンやプレーパークになるのかイメージを掴んでいたようです。



3. グループワーク

3つのグループに分かれて、グループ毎に「第二学区コミセン」、「児童館+プレーパーク」、「敷地全体」の3つのテーマで平面図案を見ながらグループワークを行いました。

各グループで熱心な議論が行われ、たくさんの意見が出されました。

テーマ	主な意見
第二学区コミセン	<ul style="list-style-type: none"> 出入口が駐車場から遠い ホワイエスペースは是非欲しい 会議室をもっとつなげて広く使えたらいい 等
児童館+プレーパーク	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が多いので入口スペースが狭い 静養室が必要ではないか 木のベンチ等の優しい素材が必要 等
敷地全体	<ul style="list-style-type: none"> 屋外で軽スポーツがしたい ピクニック広場で祭りをしたい 中学生なども遊べる場所にしてはどうか 等

